

『道経一体経営原論』(初版 第1刷) 正誤表

『道経一体経営原論』(令和元年12月25日初版発行)におきまして、内容に誤りがありました。お詫びするとともに、下表のとおり、訂正いたします。

| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|-----|-----|-------------------------------|--|
| 目 6 | 9 | 第五項 企業の本質は道徳である 23 | 第五項 企業の本質は道徳である 24 |
| 目17 | 16 | 第一項 どこに行っても通用する人に育てる | 第一項 どこに行っても通用する人 を 育てる |
| 目22 | 2 | 第四節 資本と労働 —————766 | 第四節 資本と労働 ————— 765 |
| 54 | 13 | 日本経済は金解禁や再解禁などを | 日本経済は金解禁や 再禁止 などを |
| 99 | 17 | 生命を入れることを知らな | 生命を入 る ことを知らな |
| 105 | 8 | (『語録』一九一ページ、鷲津邦正) | (鷲津邦正『経営と道徳』第十九号、一五ページ、 『語録』一九一ページ) |
| 152 | 11 | ならぬのです | ならぬので あります |
| 158 | 8 | 真の道徳尊重である。 | 真の 伝統 尊重である。 |
| 183 | 2 | とくに多額の利益 | とくに 巨額 の利益 |
| 199 | 11 | 持たぬ方安全であります。 | 持たぬ方 が 安全であります。 |
| 202 | 3 | 正統的物質生活法 | 正統物質生活法 |
| 202 | 4 | 自給自足の原理によりて | 自給自 活 の原理によりて |
| 211 | 11 | どんなに利益を上げている時でも | どんなに 収益 を上げている時でも |
| 232 | 14 | 一、いかなる微少のことにても | 一、いかなる 微小 のことにても |
| 241 | 2 | おるので早晚露見致します。 | おるので、早晚 必ず ^{ろけん} 露 顕 いたします。 |
| 378 | 1 | これがために事実上、 | これがため の 事実上、 |
| 378 | 2 | 学問、技術、知識 | 学問、 知識、技術 |
| 378 | 5、9 | 工場の倒産 | 工場の倒 壊 |
| 378 | 8 | 職工の疲労と生命の縮小 | 職工の疲労と生命の縮 少 |
| 417 | 8 | 「割れ窓理論」(broken window theory) | 「割れ窓理論」(broken window s theory) |
| 430 | 15 | 「より高い品質は、善である」 | 「より 良い 品質は、善である」 |
| 432 | 16 | 盃の献酬〔やりとり〕 | 盃の献酬〔 とりやり 〕 |
| 438 | 13 | お客さんに映れば | お客に映れば |
| 439 | 1 | 『資料集』1 広池博士講演集 | 『資料集』 2 広池博士講演集 |
| 467 | 2 | 多くの納税することが | 多くの納税 を することが |
| 472 | 10 | ^{くによ} 国用〔ししゅつ〕を制するに | ^{こくよ} 国用〔ししゅつ〕を制するに |
| 475 | 2 | スーパータックス | スー パー タックス |
| 487 | 6 | (『旧紀要』第四号、二五ページ) | (『日記』 ⑤ 、一〇八ページ、昭和八年十一月二十三日、「 ^{いすず かはん} 第二五十鈴河畔の教訓」第十四箇条、『旧紀要』第四号、二五ページ、『語録』二四ページ) |
| 519 | 16 | 投資キャッシュフローがマイナスで、 | 財務 キャッシュフローがマイナスで、 |
| 527 | ㊦ | 負債合計・純資産合計 | 負債合計 + 純資産合計 |

| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|-----|----|---|---|
| 537 | 10 | 香川景三郎『れいろう』 | 香川景三郎・ 初音 『れいろう』 |
| 538 | 3 | 一三〇ページ、『語録』七九ページ) | 一三〇ページ) |
| 538 | 13 | 自分の従業員の前途 | 自分の 使用人 の前途 |
| 539 | 2 | 商店に集まっておる従業員の | 商店に集まっておる 使用人 の |
| 550 | 1 | 使用人をこの教 ^{おしえ} にて | 使用人を も この教 ^{おし} えにて |
| 551 | 1 | 第一項 どこに行っても通用する人に育てる | 第一項 どこに行っても通用する人 を 育てる |
| 554 | 12 | どこに行っても通用する人に育てよう | どこに行っても通用する人 を 育てよう |
| 565 | 1 | 次に真に救われた工場主 | 真に救われた工場主 |
| 584 | 11 | 資本家側が使用人を | 資本 主 側が使用人を |
| 585 | 3 | すべて、主人側にて | 主人側にて |
| 585 | 3 | いう事を心がけるのは | いう こと を心が く るのは |
| 602 | 14 | 得んとするは不道德なり。 | 得んと すること は不道德なり。 |
| 657 | 17 | 『資料集』2 広池博士講演集——昭和時代篇第二輯、一五二ページ | *「経済、財政及び産業につきて」 |
| 685 | 9 | 第二五十鈴河畔の教訓」第十六箇条) | 第二五十鈴河畔の教訓」第十六箇条、『 旧紀要 』第四号、二六ページ) |
| 703 | 16 | 定——廣池博士の教訓 | 定—— 最高道徳は善人、賢人をますます大善人、大賢人にする教 |
| 704 | 2 | 「第二五十鈴過半の教訓」第六箇条、 | 「第二五十鈴 河畔 の教訓」第六箇条、『 旧紀要 』第四号、二四ページ、 |
| 710 | 6 | 三ページ) | 三ページ、『 資料集 』1 広池博士講演集——昭和時代篇第一輯、三—二ページ) |
| 735 | 15 | 自己反省している | 悪人 に自己反省している |
| 772 | 8 | 「道徳主義」よらなければならいと主張 | 「道徳主義」 に よらなければなら ない と主張 |
| 864 | 4 | 2、伝統の服 | 2、伝統の 服従 |
| 867 | 9 | (2) 売り出し。一切を用いず。 | (2) 売り出し。一切 政策 を用いず。 |
| 索 3 | い | 入るを量りて出ざるを為む 77, 472, 476, 504 | 入るを量りて出ざるを為む 77, 472, 476, 504, 755 |
| 索 6 | き | 『旧紀要』(モラロジー研究所) 8, 66, 98, 130, 173, 201, 279, 315, 487, 760 | 『旧紀要』(モラロジー研究所) 8, 66, 98, 130, 173, 201, 279, 315, 487, 685, 704, 760 |
| 索 6 | け | 『経営と道徳』(モラロジー研究所) 135, 211, 285, 558, 565, 628, 665, 734 | 『経営と道徳』(モラロジー研究所) 105, 135, 211, 285, 558, 565, 628, 665, 734 |
| 索12 | す | スマイルズ, サミュエル 102 | スマイルズ, サミュエル 102, 205 |
| 索15 | と | 「動機と目的と方法と誠を悉す」 123, 142 | 「動機と目的と方法と誠を悉す」 123, 143 |
| 索16 | な | ナポレオン一世 669 | ナポレオン一世 19, 669, 720 |
| 索16 | に | 『日記(廣池千九郎日記)』 210, 381, 433, 665f, 685, 704, 709, 721, 741, 774 | 『日記(廣池千九郎日記)』 210, 381, 433, 487, 665f, 685, 704, 709, 721, 741, 774 |
| 索21 | り | リスト, フリードリッヒ 748 | リスト, フリードリッヒ 748, 753 |